

# 客先訪問報告書サンプル

## 客 先 訪 問 報 告 書

作成者 : 井上秀雄

作成日 : 2006年10月12日

( 敬称略 )

訪 問 日	2006年 10月 12日 (木) 13:00~14:00	
訪問場所	神奈川県藤沢市南藤沢1-15 毎日生命藤沢ビル	
訪 問 先	客 先 名	(株)ウェブ・システム
	客先URL	http://www.web〇〇system.co.jp
	部 門 名	
	役 職 名	代表取締役社長
	氏 名	太 野 哲 人
訪 問 者	井 上 秀 雄	
同 行 者	クマール社長	
訪問目的	ボンベイ・ジャパンの紹介とセリング	
訪問結果		
1. (株)ウェブ・システム 太野社長からの提案、依頼等		
(1). 外資系の銀行をボンベイ・ジャパンと協同でマーケティングしたい。 ボンベイが表面に立つのが難しければ、ウェブ・システムが表に立ってもよい。		
(2). セキュリティ、暗号等インドが日本よりはるかに進んでいる分野を生かしたビジネスを日本へ持ってきてボンベイ・ジャパンとウェブ・システムが協同して実行したい。 インドのソフトの日本語化をウェブ・システムで行なってもよい。		
(3). 日本の技術者の数は増加しない、技術レベルも高くない時代がやってきている。 ボンベイがバングラデシュ、中国を使って日本でビジネスを行なうというような国際的なアライアンスを組んでビジネスを行なう時代だ。ウェブ・システムと組んで一緒にビジネスをやりませんか？		
(4). インド人を社員として採用したいので紹介、協力してほしい。今さがしている。 日本語が多少できて、できれば日本にずっと住みたいという人が好ましい。 英語で仕事をしてもらおうので。		
①. 自分の会社(=ウェブ・システム)の立場で仕事をする人が必要だ。 社員でないと、最終的には仕事してもらう人が、ウェブ・システムと客先の間でつらい立場に立たされることになって仕事うまく行かなくなるからだ。		
②. 社員となるインドの人には、Web系オープンシステム、携帯電話、ファームウェア等の仕事をしてもらいたいと考えている。		
2. Action Plan : クマール社長に11月15日(水)までにウェブとの提携を決断していただきたい。		

